

三保折戸 MCF 瓦版^{かわら} (第 16 号)

『三保折戸 MCF 瓦版』は、弊社清水工場周辺でペルフルオロオクタン酸（PFOA）が検出された件に関して、三保地区連合自治会、静岡市と弊社の三者が正確な情報を共有し、綿密な連携により、適切な対応を検討することを目的として 2023 年 11 月に発足した、「三者連絡会」の内容についてご報告しております。第 16 号は、2025 年 5 月 14 日に開催された、第 15 回三者連絡会での報告内容についてご報告いたします。

第 15 回三者連絡会(2025 年 5 月 14 日開催)

1) 静岡市による環境モニタリング状況報告

静岡市より定期モニタリング調査結果（2025 年 4 月末調査まで）が報告されました。

▼定期モニタリング調査結果について（静岡市ホームページに掲載予定）

<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s5382/s012235.html>



2) 弊社による今後の環境浄化対策（計画）

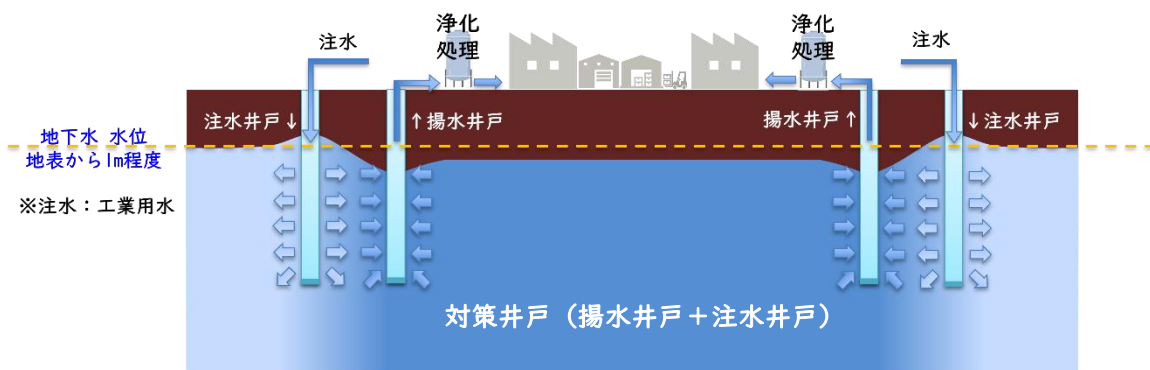
工場敷地内の地下水拡散防止対策として「遮水壁」の設置を検討してきましたが、シミュレーション解析を実施した結果、「対策井戸」（「揚水井戸」と「注水井戸」の組み合わせ）の設置においても、遮水壁と同等の効果が発揮されることが確認されました。現在、弊社が導入を検討している「対策井戸」について三者連絡会にてご説明しました。

● 「対策井戸」の仕組みは？

工場敷地内の地下水位は、「揚水井戸」（工場敷地内に複数設置）により低く維持、「注水井戸」（工場敷地内の境界付近に複数設置）により高く維持されます。注水井戸から揚水井戸に向かって地下水の流れが発生するため、工場敷地境界に地下水の壁ができた状態となり、工場敷地内から周辺への地下水の拡散防止効果が期待されます。（下図ご参照）

● 「対策井戸」に期待されるその他の効果は？

- 「揚水井戸」により汲み上げた地下水を活性炭で浄化します。（構内地下水の浄化）
- 「注水井戸」により汲み上げた地下水と同量程度の工業用水を地下へ注入、
揚水と注水のバランスを取り地下水量を保持します。（塩水化・渴水化の防止）
- 工業用水注入により周辺地下水の PFOA 濃度低下も期待されます。



連絡先： 三井・ケマーズ フロロプロダクツ株式会社 総務法務部 054-334-1165

▼『MCF 三保折戸瓦版』最新号は弊社ホームページにも掲載しています。

<https://www.mc-fluoro.co.jp/corporate/eco/>

